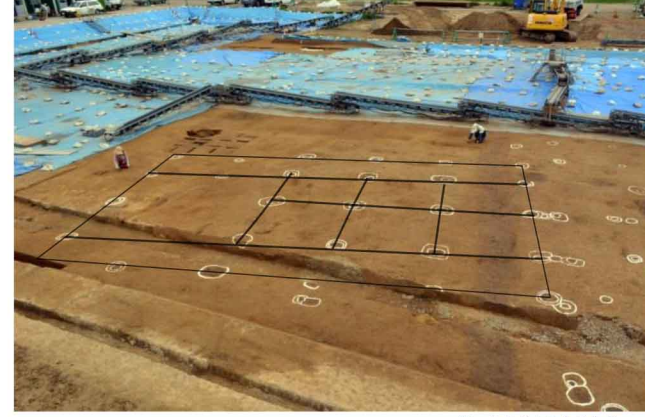




① 堀の調査風景(幅約2m)



② 大量の土師質土器皿・小皿が捨てられた井戸(直径約2.4m)



③ 幅約30cmの角柱が用いられた掘立柱建物(長さ約12m・幅約8m)

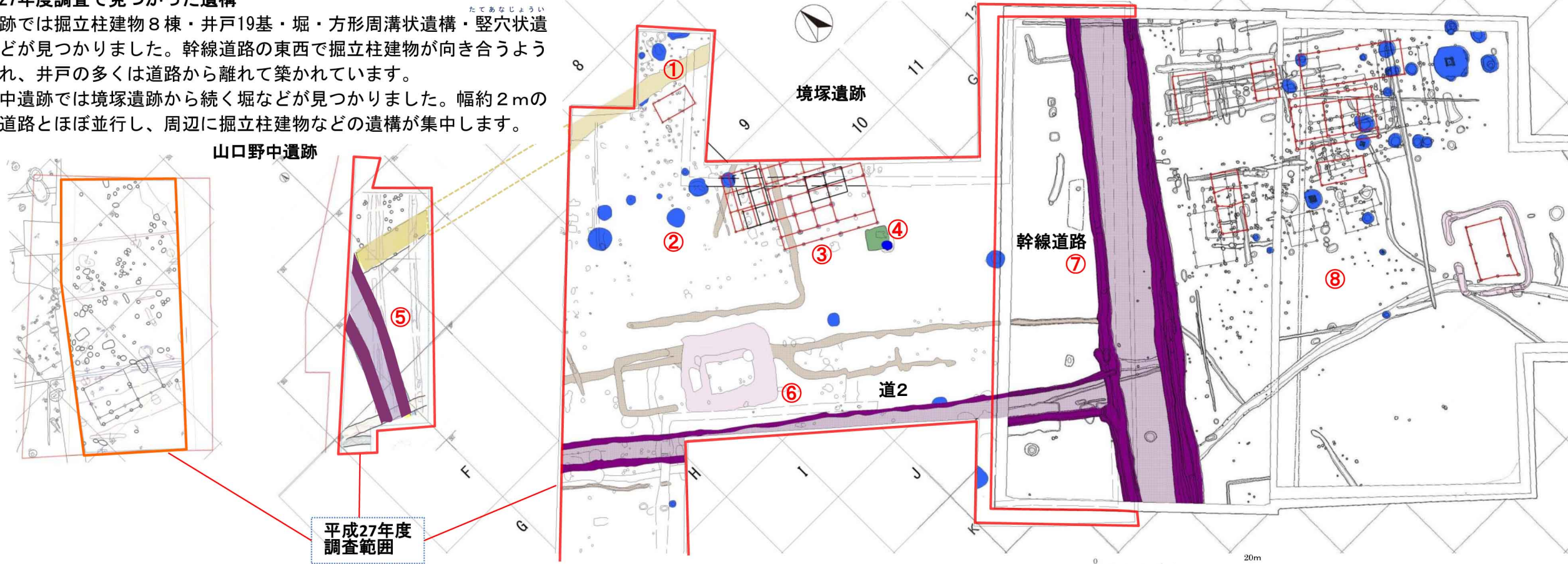


④ 深さが推定2.5mの方角竪穴遺構。上半は人為的に埋め戻されている(長さ約3m)

2 平成27年度調査で見つかった遺構

境塚遺跡では掘立柱建物8棟・井戸19基・堀・方形周溝状遺構・竪穴状遺構・溝などが見つかりました。幹線道路の東西で掘立柱建物が向き合うように建てられ、井戸の多くは道路から離れて築かれています。

山口野中遺跡では境塚遺跡から続く堀などが見つかりました。幅約2mの道は幹線道路とほぼ並行し、周辺に掘立柱建物などの遺構が集中します。



境塚遺跡・山口野中遺跡遺構配置図(町場エリア)



⑤ 幹線道路と並行する道(幅約2m)



⑥ 方形周溝状遺構。溝から土師質土器皿の破片や礫が多数出土した(長さ約12m・幅約10m)



⑦ 幹線道路及びこれと直行する道2(幹線道路は幅約9m、平成21年度調査)



⑧ 幹線道路の東側に築かれた掘立柱建物や井戸(平成26年度調査)